教 授　**齋藤　希史**　SAITO, Mareshi

1. 略歴

1986 年 3 月　京都大学文学部文学科中国語学中国文学専攻卒業
1986 年 4 月　京都大学文学部聴講生
1988 年 4 月　京都大学大学院文学研究科修士課程中国語学中国文学専攻入学
1990 年 3 月　京都大学大学院文学研究科修士課程中国語学中国文学専攻修了（文学修士）
1990 年 4 月　京都大学大学院文学研究科博士課程中国語学中国文学専攻進学
1991 年 3 月　京都大学大学院文学研究科博士課程中国語学中国文学専攻退学
1991 年 4 月　京都大学人文科学研究所助手
1997 年 4 月　奈良女子大学文学部講師
1999 年 4 月　奈良女子大学文学部助教授
2000 年 4 月　国文学研究資料館文献資料部助教授
2000 年 4 月　奈良女子大学文学部併任助教授
2001 年 10 月　東京大学大学院総合文化研究科併任助教授
2002 年 10 月　東京大学大学院総合文化研究科助教授
2002 年 10 月　国文学研究資料館文献資料部併任助教授
2007 年 4 月　東京大学大学院総合文化研究科准教授
2012 年 4 月　東京大学大学院総合文化研究科教授
2015 年 5 月　東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国古典文学

b 研究課題

(1) 中国古典詩文、とりわけ六朝から唐宋にかけての詩賦および文学論。
(2) 古代から近代にいたる漢字圏の生成と展開、またその言語・文字・文学・出版。

c 概要と自己評価

(1)については、六朝期の文学を『文選』の編纂からふりかえって意義づける試みを行い、2022 年刊行予定の共著原稿にまとめた。また、建安期から劉宋期にいたる五言詩の展開において、東晋期の詩文が果たした役割について考察した。(2)については、『日本思想史事典』の「漢文脈で読む明治」の項目執筆や単著『漢文ノート　文学のありかを探る』等において成果を示し、また科学研究補助金基盤（A）「国際協働による東アジア古典学の次世代展開」等の資金を得て、国内外との共同研究活動を積極的に行った。なお、単著『漢文脈の近代』の中国語訳、『漢文脈と近代日本』の英訳が出版されたことも成果に含めたい。

d 主要業績

(1) 著書

辞書・辞典・事典、日本思想史事典編集委員会 編、『日本思想史事典』、丸善出版、2020.4
単著、齋藤希史、盛浩偉（訳）、『「漢文脈」在近代　中国清末与日本明治重畳的文学圏』、群學出版有限公司、2020.9
単著、Mareshi SAITO、Arthur Defrance（訳）、Jean-Noël Robert（監修）、『Qu'est-ce que le monde sinographique ?』、Collège de France, Institut des Hautes Etudes Japonaises、2021.10
単著、Mareshi SAITO、Ross King（編）、 Christina Laffin（編）、Sean Bussell（訳）、Matthieu Felt（訳）、Alexey Lushchenko（訳）、Caleb Park（訳）、Si Nae Park（訳）、Scott Wells（訳）、『Kanbunmyaku: The Literary Sinitic Context and the Birth of Modern Japanese Language and Literature』、Brill、2020.11
単著、齋藤希史、『漢文ノート　文学のありかを探る』、東京大学出版会、2021.11

(2) 書評

向嶋成美編著、『李白と杜甫の事典』、大修館書店、『漢文教室』、206、40 頁、2020.4
東英寿編、内山精也・浅見洋二・萩原正樹・中本大、『宋人文集の編纂と伝承』、中国書店、『立命館アジア・日本研究学術年報』、1、144-147 頁、2020.6

⑶ 啓蒙

齋藤希史、「胡同の文人」、『工芸青花』、14、10-11 頁、2020.6

⑷ マスコミ

［翻訳語事情］【public health→公衆衛生】、『読売新聞』、2020.4.6／同【style→様式】、2020.6.1／同【telephone→電話】」、2020.8.3／同【sympathy→同情・共感】、2020.10.5／同【reflection→反省】、2020.12.7／同【thermometer→温度計】」、2021.2.1

3. 主な社会活動

⑴ 他機関での講義等

非常勤講師、早稲田大学政治経済学部、外国文学、2020-21

⑵ 学会

国内、中国社会文化学会理事、東方学会評議員、六朝学術学会理事、日本中国学会評議員、日本近代文学館運営審議委員